

令和3年度 学校関係者評価報告書

学校法人 本田学園
アルファジャパン美容専門学校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員

清水 律子	県立姫路西高等学校 元教諭
西山 博資	保護者（卒業生）
馬場 博之	卒業生
本山 隆幸	有限会社もとやま 代表取締役
本田 宗一郎	アルファジャパン美容専門学校 校長

学校関係者評価委員会・開催日時

令和4年3月15日 10時～12時

学校自己評価報告書（令和3年度冬）の結果に基づいて学校関係者評価を実施したので下記のとおり報告します。

学校アンケート（職業実践専門課程）

（１） 教育理念・目標 評価

評価項目	採点
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.7
学校における職業教育の特色は活かされているか	3.7
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	3.3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3.1

※採点基準： 適切—4・ほぼ適切—3・やや不適切—2・不適切—1

■現状・課題と改善点

学校の特色など、オープンキャンパスでお会いした保護者には周知できている。

■学校関係者評価

今後も学校理念などの周知を心掛けるように。

（２） 学校運営 評価

評価項目	採点
目的に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画が策定されているか	3.8
運営組織や意思決定機能は、規則などにおいて明確化されているか	3.3
人事・給与に関する組織整備など、意思決定システムは整備されているか	3
教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	3.3

※採点基準： 適切—4・ほぼ適切—3・やや不適切—2・不適切—1

■現状・課題と改善点

策定されている。

■学校関係者評価

引き続き、入学者数の確保、増加を目指し、学生満足度向上をしていくように。

(3) 教育活動 評価

評価項目	採点
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方策などが作成されているか	3.6
教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえて、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.6
学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか	3.4
美容業界の連携によりカリキュラムの作成・見直しなどが実施されているか	3.4
美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけされているか	3.7
授業評価の実施・評価体制はあるか	3.4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定・進級・卒業認定の基準は明確か	3.6
資格取得等に関する指導体制・カリキュラムの中での位置づけはなされているか	3.9
人材育成目標の到達に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4
美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や、教員の指導力向上のための取り組みが行われているか	3
職員の能力開発のための研修は行われているか	3

※採点基準： 適切—4・ほぼ適切—3・やや不適切—2・不適切—1

■現状・課題と改善点

教育については体制が整っている。

職員研修はあるが、より専門的な知識を習得したい。

■学校関係者評価

企業との連携を図り、より専門的な職員研修の機会を設けてはどうか。

(4) 学習成果 評価

評価項目	採点
就職率の向上はなされているか	3.5
美容師資格の取得はなされているか	4
その他美容関連の資格取得はなされているか	3.9
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍・評価を把握しているか	3

卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3
--	---

※採点基準： 適切—4・ほぼ適切—3・やや不適切—2・不適切—1

■現状・課題と改善点

就職は決定しているが、就職活動の動きが遅い者に対しての指導をする必要がある。

■学校関係者評価

就職活動で悩んでいる学生に対しては親御さんを交えての三者面談を行ってはどうか。

(5) 学生支援 評価

評価項目	採点
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.6
学生相談に関する体制は整備されているか	3.3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.7
学生の健康管理の支援体制は整備されているか	3.7
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.2
学生の生活環境への支援体制はあるか	3.2
保護者と適切に連携しているか	3.3
卒業への支援体制はあるか	3.7
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.2

※採点基準： 適切—4・ほぼ適切—3・やや不適切—2・不適切—1

■現状・課題と改善点

日々、新型コロナウイルス感染症についての取り決めが変わる中で、適宜対応し、支援している。

■学校関係者評価

引き続き、コロナ禍の中であるため、色んな悩みを持っている場合があるため、より一層の学生支援をしていくように。

(6) 教育環境 評価

評価項目	採点
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.1
海外研修などの実施の体制は整備されているか	3
防災に対する体制は整備されているか	3.3

※採点基準： 適切—4・ほぼ適切—3・やや不適切—2・不適切—1

■現状・課題と改善点

海外研修の実施体制は整備されているが、現在は感染症流行のため、実施できていない。

■学校関係者評価

コロナ禍の中であるため、状況を見ながら研修等の実施を考えていくように。

(7) 学生募集 評価

評価項目	採点
学生募集活動は適正に行われているか	3.8
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8
学費は妥当なものとなっているか	3.7

※採点基準： 適切—4・ほぼ適切—3・やや不適切—2・不適切—1

■現状・課題と改善点

感染症流行により、高校訪問に行くことも考え方によっては難しい。

■学校関係者評価

入学してきた学生の満足度を上げることを心掛けて紹介していただける学校づくりをしていくように。

(8) 財務 評価

評価項目	採点
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.5
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.5
財務に関する会計監査は適正に行われているか	3.5
財務情報公開の体制整備はできているか	3.5

※採点基準： 適切—4・ほぼ適切—3・やや不適切—2・不適切—1

■現状・課題と改善点

■学校関係者評価

建物の修繕費を考えながら基盤を安定させていくように。

(9) 法令などの遵守 評価

評価項目	採点
法令・専門学校設置基準などの遵守と適正な運用がなされているか	3.8
個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	3.1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.6

※採点基準： 適切—4・ほぼ適切—3・やや不適切—2・不適切—1

■現状・課題と改善点

遵守している。

■学校関係者評価

特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献 評価

評価項目	採点
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか	3
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3

※採点基準： 適切—4・ほぼ適切—3・やや不適切—2・不適切—1

■現状・課題と改善点

支援している。

コロナのためにできていないのが、コロナが収まればできる。

■学校関係者評価

清掃活動などできる範囲で行っていき、地域と連携していくように。